

# 学園 だより

# 187

2023 Winter

令和5年2月9日発行

〒381-8550 長野市徳間716  
TEL026-295-7003 FAX026-295-4356  
<https://www.nagano-nct.ac.jp/>

- 2 ■ 卒業式・修了式を迎えるにあたって
- 4 ■ 進学・就職体験記
- 6 ■ 第57回工嶺祭
- 8 ■ 学生の活躍
- 10 ■ 2学年 研修旅行 / 3・4学年 企業・現場見学
- 12 ■ 後援会だより / 校内短信 / 表紙のことば



# 卒業式・修了式を迎えるにあたって



校長  
江崎 尚和

## 卒業・修了を迎える皆さんへ

卒業・修了おめでとうございます。

皆さんは人生において最も多感で、人間として肉体的にも精神的にも成長する大切な年代を長野高専で過ごされました。長きにわたり時間を共有したクラスメートとの学校生活や寮生活を通じて培われた協調の精神、クラブ活動で鍛えた強い肉体や精神力と最後までやり遂げる忍耐力、その他学校生活で得たすべてのものが皆さんのこの先の人生の大きな支えとなってくれることと思います。在学中にできた友人、クラブやサークル、寮での先輩や後輩とのつながりは大切にしてください。皆さんにとってかけがえのない貴重な財産となるはずですよ。

これまで皆さんを導き、成長を見守り続けた先生方にとっては、送り出す卒業生は全員が宝物です。皆さんの卒業後の活躍は先生方の喜びであり長野高専にとっても誇りです。皆さんの青春時代の思い出多き場所でもある長野高専です。懐かしくなったとき、人生で何か転機が訪れたときなどは遠慮なく学校を訪問して下さい。長野高専はきっと皆さんを暖かく迎え入れてくれることでしょう。皆さんのこれからの活躍を心よりお祈りしています。



## いろいろあったなあ

5M 松本 遼真  
(高山村立高山中学校出身)

過ぎてみれば、5年間はあっという間でした。小学校の6年が永遠に続くと思えるほどに長かったことを考えると、年々月日の流れが早くなっていることを実感します。

3年生に上がったと同時にリモート授業となったため、クラスメイトと初めて顔を合わせたのは、それから約半年後のことでした。その分仲を深められる期間が短かったですが、なんだかんだうまくやってきたと思います。これから進む道はそれぞれ異なっていきますが、皆で力を合わせて高専を生き抜いてきた日々を糧に頑張ります。



## 成長できた5年間

5S 湯澤 壮一郎  
(喬木村立喬木中学校出身)

高専での生活を振り返ると、勉学と部活に励み、充実した5年間を過ごすことができたように思います。特に部活では硬式野球部に所属し、主将や学生監督など貴重な経験をしました。そのおかげで多くのことを学び、成長することができたと感じています。

この5年間で様々な経験をしてきました。その中で苦労することもありましたが、周りの人にも恵まれ、たくさんの方々に支えていただきました。本当に感謝しています。これからも感謝の気持ちを忘れずに日々過ごしていきたいです。



## 感謝

5E 横田 依子  
(中野市立南宮中学校出身)

私の高専生活の一番の転機は4年の夏休みに行った実務訓練でした。ぼんやりしていた将来のやりたいことがここで明確になりました。就職会場で大学生

や大学院生と一緒にいることもありましたが、高専の先生方のようなバックアップは一切なく、とても苦労していました。自由応募の私にとっては高専在学中に就職活動を行うことができたことは、本当に大きなメリットでした。これまでお世話になった皆様には本当に感謝しています。ありがとうございました。



## 仲間たちへ

5J 篠原 巧磨  
(茅野市立東部中学校出身)

長野高専で過ごした5年間は決して楽しいことだけではありませんでした。むしろ、辛く苦しいことの方が多かったかもしれません。しかし、そんな日々であっても、いつも私の隣には仲間たちが居てくれました。投げ出したくなるような日々の中でも、共に支え合った仲間たちが居たから、私は楽しく過ごすことができたと思います。

長野高専を卒業し仲間たちとは離れてしまうけど、この経験を思い出せばどんなことでも乗り越えられる気がします。本当に大切な時間をもらいました。ありがとう。



## これから

5C 木船 琢馬  
(安曇野市立豊科南中学校出身)

本科での5年間の生活はとても短かったように感じます。僕の学科は特に3年、4年と学業が辛い時期もありましたが、先生方の丁寧な授業や学科の友人、時には他学科の友人にも支えられて充実した学生生活を送ることができました。先生方や友人など、このような恵まれた環境を提供して下さったすべての方に感謝いたします。

しかし、僕達はスタートラインに立ったばかりだと思います。多くの人から与えていただいたものを自分の力でできるようなこれからも努力を続けていきます。ありがとうございました。



## 実りある2年間

2AP 高橋 一輝  
(大町市立第一中学校出身)

正直な所、本科入学時は自分の将来についてほとんど何も考えておらず、将来やりたいことがあまい状態でした。そこからさまざまな人や世界に触れたのですが、自分がこのまま社会に出てまともにやっていけるのか少し怯えていたのが2年前の私でした。しかし、専攻科を通して、更に専門的な勉強をしたり、長期インターンで実際の企業の方と活動できた事で、社会での自分を明るく具体的にイメージできるようになりました。多くの方に支えられ、今の自分があると思っています。ありがとうございました。



## 人生で一番長い夏休み

2AE 田中 俊輔  
(長野市立柳町中学校出身)

中学校の技術の授業でラジオを作り、ものづくりの楽しさを知りました。それが僕の高専に入るきっかけです。

1年生の頃、当時5年生の先輩から「高専は人生で一番長い夏休みだよ!」と言われました。今になってその言葉の意味を実感しています。授業や部活動を通してたくさんの人たちに恵まれ、気がつくとも7年も在籍してました笑。卒業と同時に多くの別れを迎えることは寂しいですが、高専で得た知識と経験を次の舞台に活かしていこうと思います。お世話になった方々に心から感謝致します。

# 担任の先生より



## 災い転じて福となす

5M担任 小林 裕介

コロナ禍という未曾有の状況で大変な学生生活だったかと思いますが、それ故に得られることも多かったかと思いますが。柔軟性、臨機応変、DXなどのスキルは社会できっと重宝されます。みなさまの活躍とお土産を楽しみにしています。



## 世界は誰かの仕事でできている。

5E担任 秋山 正弘

卒業し社会に出ると、このタイトルの言葉を感じる場面が多くなると思います。この「誰か」に皆さんが参加し、いずれは「世界は僕の仕事で出来ている!」と言いに来てください。今後の活躍を期待しています。ご卒業おめでとうございます。



## 卒業おめでとうございます!!!

5S担任 沼田 優子

3年間ありがとうございました。とても楽しい日々でした。時間はすぐに過ぎていきますね。1日1日を大切に。でも元気が一番!皆さんの未来に幸多からんことを。一段と素敵になったみんなにまた会えるのを楽しみにしています。



## 「学校で学んだ知識を生かして」

5J担任 藤田 悠

この文句を進路活動で頻りに耳にしました。学校側の人間としては、そうあれば嬉しいですが、学校で学んだ分野に縛られる必要はありません。真に皆さんが活躍できる場を自分の力で見つけてほしいと思います。



## 「天は自ら助くる者を助く」 とのことです

5C担任 遠藤 典男

「天は自ら助くる者を助く」との賜ったのは、かの壱万円札の先生で、自ら努力する人に、天は力を貸し、助け、幸福をもたらす、という意味のようで、卒業しても長らく努力してゆく必要がありそうです。



# 進学 就職 体験記

就職先に内定した先輩、大学の編入学・大学院入学試験に合格した先輩に体験記を書いていただきました。在校生の皆さん、ぜひ参考にしてください。

## 就職



### 魂のやりたい放題

5S 大日方 栄貴  
(小川村立小川中学校出身)

採用活動において「学生時代頑張ったこと」を企業は重視します。長野高専には挑戦する機会が多くあります。部活動や同好会以外にも、半年前から準備を始める工嶺祭実行委員会や学校を良くするために日々活動している学生会等の団体もあります。私は英語が苦手ですが短期留学生との交流の場に参加したり、先生に直談判して信州大学に卒業研究の実験をしに行ったりと失敗を恐れずに日々挑戦してきました。低学年のうちから出来る就活対策は学生生活を充実させることです。様々なことに挑戦してみてください！



### 長期学外実習で得たもの

2AE 柳澤 陽葉  
(長野市立北部中学校出身)

私の就職活動に大きな影響を与えたのは専攻科1年次の長期学外実習です。学外実習を通して、自分が学んできたことが仕事に役立つことを実感でき、学外の方からの客観的な評価が自信に繋がりました。これらのことが自分の本当に就きたい職種が何なのか、深く考えるきっかけとなりました。自信を得られたことで挑戦する気持ちが生まれたことも良かったです。学外実習に限らず学校外の環境での活動から得られるものはたくさんあると思うのでそういった機会があればぜひ取り組んでみてください。

## 就職



### 視野を広げて

5J 明治 愛奈  
(佐久市立浅科中学校出身)

就職活動を始めた当初、「J科だからプログラミングを仕事にしなきゃ…」と考えが凝り固まっていました。しかし、企業説明会に参加したり、進路相談室に行ったり、卒業した先輩方の話を聞いたりすることで、自分の中に無かったたくさんの選択肢に出会えました。自分の好きなこと、苦手なことなどから徐々に職種を絞っていき、就職希望先を決め、無事に内定を頂くことができました。

不安になると視野が狭くなってしまいがちです。一人で抱え込まないで、いろんな人に相談してみてください。

## 進学



### 興味ある分野を明確に

5M 宮澤 佑生  
(長野市立北部中学校出身)

進学するだけ決めて、どこの大学に行こうか決まらないという人は多いと思います。そんな時は大学で勉強したいこと、研究したいことを明確にしましょう。大学のHPにはカリキュラム、各研究室の研究内容、論文などたくさんの情報が載っているので、それらを見ると興味ある分野を見つけられるかもしれません。工学部以外の学部への編入もできないわけではありません。

試験対策については、先生にお願いして口頭試問と面接の練習を何度もすることをおすすめします。

## 進学



### 選択肢はむしろ広がる

5E 松下 一步  
(大町市立美麻小中学校出身)

みなさんが、高専からの編入を考えると、進路が工学部しかないと考えてしまう方もいるかもしれません。僕自身も編入について調べ始める前は、そう思い込んでいました。確かに全体の傾向としては、工学部の自分の専攻と同じ学科に進学するケースが多いです。

しかし、意外と選択肢はあります。高専生の編入体験談がまとめられている非常に有用なサイト“ZENPEN”を読むとわかります。専攻を変える人や、数学科に進学する人、海外大学へ進学している人もいます。ぜひ、高専生らしく、視野を広げて自信をもって自分のやりたいことを突き詰めてみてください！

## 進学



### 技術者として成長するため

2AP 出田 颯人  
(長野市立東北中学校出身)

専攻科学外実習先の信州大学工学部での研究活動を通して、「この分野では誰にも負けない」人間に成長したいと考えるようになりました。様々な分野を専門とする教授、学生が集まる中で研究は、自身の考え方を大きく変える経験でした。以来、一つ分野を極めることの楽しさや大切さを知り、信州大学総合理工学研究科への進学を決めました。

大学院進学はレベルの高い環境に身を置くチャンスです。大学院で技術者としての自分を成長させることも、選択肢の一つとしてみてはいかかでしょうか。

## 進学



### モチベーションの保ち方について

5C 竹腰 大和  
(千曲市立更埴西中学校出身)

「其一、早く編入勉強に取り掛かる。其二、短時間でいいから毎日机に向かう。」以上がモチベーションを保つことができた要因です。

其一から、時間的余裕が生まれ、其二から日々の勉強が習慣化されました。すると、学問を楽しむ余力が生まれ、勉強することに抵抗を感じなくなり、結果的に勉強をするためのモチベーションが不要になりました。実際、試験日が4か月延期になり夏季休業期間中も勉強をする必要が生まれましたが、自然と毎日机に向かうことができました。

編入試験は自由度が高い分、能動的に動くことが求められます。勉強の仕方は十人十色ですが、もしお手上げ状態でしたら保証はできませんがぜひ試してみてください。

## 就職編 先輩からの声

- 自分のやりたいことを明確にしよう。
- 学生のうちにやりたいことをやったほうがいい。
- 面接練習はいろんな先生にお願いしてやってもらおう。
- 面接では質問に対して一言で答えるのではなく、何故そう思うのかを具体的に述べるとよい。
- 就活に早いと言うことはない！早くから企業研究をしよう！
- 授業の内容や作った物について面接で深いところまで聞かれたので、しっかりと理解しておけばよかった。
- 何事にも一生懸命に取り組もう！
- なにか1つでもアピールポイントがあるとだいぶ有利になる。
- 調べるだけでは会社の雰囲気などがわからないので、積極的にインターンシップに行こう！
- 妥協せずに絶対にこの企業でなければだめだと思えるような企業を探そう！
- なにかからすればよくわからなかったらとりあえず先生に相談しよう。先生はたくさんの企業を知っています。
- 就職したらなにをしたいかを明確にするとある程度業種や会社が絞れる。

## 進学編 先輩からの声

- 志望校は早めに決めた方がいい。
- 3、4年で高い成績を取っておけば、推薦が狙える。
- 大学で何がしたいのか、その大学を卒業して何がしたいのか決めておく。進学を漠然とした目的にしない。
- 試験科目が年度ごとに変更されることがあるので、受験の要項はよく確認しておく。
- 試験の過去問には解答がない場合もあるので、早めに入手して科目の先生と解答を作ることから始めると良い。
- ネットやパンフレットのみだと分からないことが多いので、オープンキャンパスなどを活用して実際に大学に行ってみよう。
- 第二希望や滑り止めは、志望校と似た試験科目のところを選ぶと勉強しやすい。
- TOEIC スコアが必要になる学校もあるので、4年生のうち高いスコアを獲得しておくと思おう。
- 勉強はだいたい計画通りには進まないなので、早めに始める。
- 大学選びに迷ったときは、学科の先生に相談するといふアドバイスがもらえる。
- 授業の内容を定期テストごとに理解しておく、受験勉強が楽になる。
- 自分の長所やアピールできること、成長したことを意識して生活しておく、面接で答えやすくなる。
- 面接は先生に心が折れるくらい練習してもらおうと、本番で緊張しにくい。
- 勉強すれば偏差値が高い学校にも意外といけるので、とにかく諦めずに勉強する。



# 第57回 工嶺祭

# Spectrum



## 工嶺祭大成功！

夜祭では、有観客と配信ともに多くの方にご覧いただき、本当にありがとうございました。

## ロータリー ステージ企画

ロータリーでの各団体の発表では、多くの方にご覧いただき、熱狂的な盛り上がりでした！



第57回工嶺祭では3年ぶりとなる

一般の方を招いての開催でした！  
今年度の工嶺祭を振りかえりましょう！

## 圧巻のパフォーマンス ステージ企画

各団体が練習の成果を遺憾なく発揮しました！



## 各種企画

企業とコラボした企画にチャレンジしたクラスもあり、例年以上に高い技術力を発揮した魅力的な企画になりました。





# ROBOCON

## 第35回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2022

今年のテーマ「ミラクル☆フライ〜空へ舞いあがれ〜」は、ロボットが紙飛行機を飛ばしてオブジェクトに乗せることで点数を競います。本校からは、Aチーム「信州ずくだせランド」とBチーム「鶴紙様」が参加しました。Aチームは地区大会でアイデア賞、推薦枠で出場した全国でもアイデア賞(文部科学大臣賞)を受賞しました。Bチームは地区大会でデザイン賞を受賞し、全国大会のエキシビションに出場しました。

### 今年も面白いロボットが出来ました!

5E 矢花 大季 (長野市立更北中学校出身)

今年の高専ロボコンはもうご覧になられましたか? 過去最高難易度とも言われるルールにどう挑んで行か、各高専の特徴が出ていてとても面白いロボコンでした。紙ヒコーキという不安定なモノを飛ばす難題に、幾度も心を折られかけましたが、部員皆で支え合い、私が関わってきた5年間の中でも特に尖った面白いロボットが完成しました。随所にこだわった今年のロボット、是非ご覧ください!

### 最後のロボコン

5S 小嶋 蒼依 (中野市立南宮中学校出身)

入部したとき、ロボコンに興味はあるけれど、自分にロボットなんて作れるのだろうかと不安でいっぱいでした。加工や組み立ての仕方を一から学び、先輩に頼まれた仕事をこなすのがやっとだった1年生のころ、国技館を沸かせるロボットに感動し「国技館を沸かせたい」という目標ができました。あれから4年、「鶴」にこだわり抜いたロボットで国技館を沸かせることができ、あのとき勇気を出して入部してよかったと心から思いました。

### Aチーム 信州ずくだせランド



### Bチーム 鶴紙様



# DESIGNCON

## 第19回全国高等専門学校デザインコンペティション デザコン2022 in ARIAKE

『全国高等専門学校デザインコンペティション(通称:デザコン)』は、ロボコン、フロコンに続く第三の競技です。デザコンは主に土木系・建築系を学んでいる学生を中心として全国の高専生が参加するもので、『構造デザイン』、『空間デザイン』、『創造デザイン』、『AMデザイン』、『プレデザコン』の5部門で構成されています。

今年度は、構造デザイン(2作品)、空間デザイン(3作品)、プレデザコン(3作品)の3部門にエントリーしました。上位入賞とはなりませんでしたが、普段の学校生活では得ることができない刺激を得ることができたのではないのでしょうか。

来年度は京都での開催となります。「そうだ、京都に行こう」を合言葉に、デザコン同好会においでやす。



### 最優秀賞の重量58gだってよ...

5C 西村 俊亮

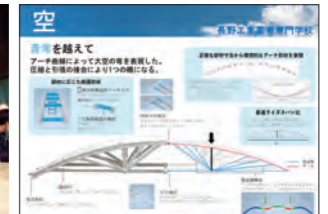
(信州大学教育学部附属長野中学校出身)



デザコン同好会では、有明高専で開催された全国デザコンに参加しました。今年度は紙を用いたニコイチ型の橋梁がテーマとなっており、30本程度の試作を進めました。8月に60kg耐荷の作品が完成しましたが、更なる改良のため構造解析等を用いて合理性を追い求めました。

学内載荷試験で重量110g破壊45kgの作品の改良型で上位入賞を目指しましたが、本番では想定していない箇所からの崩壊となり30kg破壊となってしまいました。満足できる結果とはなりませんが自分たちの全てを出し切れたので後悔はありません。もう一年やって舞臺も行きたかったです。

空



白



# PROCON

## 第33回全国高等専門学校プログラミングコンテスト

第33回プロコンが10月15日・16日にGメッセ群馬で開催されました。本校からは競技部門に「高専の現代古典II」(4J村山大樹・4J佐藤悠太・4J西澤駿太郎)が参加しました。競技部門「カあわせる六万人」は群馬県の上毛かるたを題材とした多人数同時対戦ゲームで、6万人とは全国の高専生の数を表しています。読み上げ音声は複数同時に発話されるのでこれを分析してかるたを取っていきます。読み上げ音声は2から5に分割されており、わずかな部分だけでかるたを取ると高得点となります。基本的な戦略は「既知の正解音声」とのずれを評価していくこととなりますが、音声データが断片化されていたりタイミングがずれて重ね合わされていたりとなかなか意地悪なのでそこをどう処理するかがポイントとなります。本校は1回戦第5試合に第3位で予選通過、準決勝第1試合で第6位となりました。

### 高専プロコンを通して

4J 村山 大樹 (長野市立川中島中学校出身)

高専プロコンの競技部門に「高専の現代古典II」のメンバーとして参加しました。今年の競技内容は重なった読み上げ音声から上毛かるたの取札を取るという問題です。この問題を解くアルゴリズムとして、機械学習を用いた手法を考えましたが、計算処理が重い、良い結果が得られないというよいとは言えないプログラムになってしまいました。大会中、他のチームが多くの取札を取っていく様子を見て、アルゴリズムがどれだけ強力か、大切なのかを改めて感じました。順位は芳しくありませんでしたが、今回の大会はこれからもコンピュータ科学を学ぶための大事な出来事になりました。



# ECONOPOWER

## 本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2022 第41回全国大会

この大会は昨年度と一昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止され、3年ぶりに開催されました。エコパワー部が出場している大会では出場チームは年齢別に4つのグループに分けられますが、高専は「大学・短大・高専・専門学校クラス」への出場になります。参加する各チームは車体、エンジン、作戦などに改良を重ねて成績を向上させています。

今年度は「Cygnus」チームが燃費1150.503km/lを記録して3位に入賞しました。このとき「Cygnus」チームが16.390kmのレースを走るために使ったガソリンは14.250ccという僅かな量でした。

### Honda エコマイレージチャレンジ 全国大会への参加

3E 菊地 陽介 (長野市立篠ノ井西中学校出身)



エコパワー部では、10月1、2日にツインリンクもてぎで開催されたHonda エコマイレージチャレンジ全国大会へ参加しました。他の参戦する大会と日程が近かったことから、思うように車両製作が進まず大会直前に車体を破損してしまうトラブルにも見舞われましたが大会まで諦めずに調整を行い、グループIII(大学高専専門学校クラス)にて第3位を獲得することができました。しかしこの大会を通して課題がいくつか見つかったので、これに慢心せず、来年度は全国制覇を目標として開発を続けていきます。





# 2 学年 研修旅行

コロナ禍のため、ここ数年中止されていた2学年の研修旅行が、11月9日(水)から11日(金)の2泊3日の日程で実施されました。研修場所は、石川県・富山県です。第1日は体験型水族館である「のとじま水族館」で、イルカ・アシカショーを見たり、海の生き物に直接触れたりしました。旅館「のと楽」は、全室海に面した部屋で、月が海面にきれいに映っていたのが、印象的でした。第2日は班別自主研修で、班ごとの計画に従って研修しました。金沢駅から富山駅の移動には、班ごとに北陸新幹線を利用しました。第3日は地引き網漁を体験した後、漁船・活魚水槽を漁師さんの説明を受けながら見学し、大漁鍋もいただきました。

山国長野県では体験できない、海が身近な地域に特有な産業・歴史・文化に直接触れることのできた3日間でした。



一刻

2-5 木全 四季 (坂城町立坂城中学校出身)

僕は、11/9～11/11で、富山・石川へ研修旅行に行ってきました。コロナ禍において、中学生の時、修学旅行に行けなかったり、行き先が変わったりというアクシデントの多い学年ですが、研修旅行の内容については、すごく良かったです。僕はあまり、「海」に馴染みがなくて、あんなに近くで見られると思ってませんでした。海以外にも、石川では金沢駅周辺探索、富山では2日目の自由行動を含めて、3日目の地引網体験がありました。どれも時間を忘れて楽しんでいたの、気づけば家についていました。

このような研修旅行を計画してくれた先生方や、日本旅行さんに感謝したいです。



県外への研修旅行

2-5 中島 慶乃 (上田市立真田中学校出身)

2学年は11月に2泊3日の研修旅行で石川県、富山県に行ってきました。私たちの学年は、中学生時代にコロナウイルスの影響で修学旅行などの行事が例年通り経験できなかった人が多く、私自身も、久しぶりの県外にどことなく高揚感を感じていました。3年生でクラス替えがあるので、このクラスでの旅行はこれが最初で最後でした。このクラスらしく、旅行を楽しめたと思います。私自身も、この研修旅行を通して学んだことがたくさんありました。この経験を通して人間としてさらに成長し、自分自身も他人も大切にできる人になりたいと気づかせてくれた旅行でした。

# 3・4 学年 企業・現場見学

11月9日(水)から11日(金)、3・4年生は企業・現場見学に出かけてきました。コロナ禍の影響で2020年は中止、2021年は日数を減らして実施はしましたが、今年は3年ぶりに例年通りの日数で実施しました。学生たちは熱心に説明を聞き、積極的に質問をしている姿が見られました。学生からは、実際に県内外の企業・現場を見学したり、高専OB・OGの先輩社員のお話をお聞きしたりすることで、高専での学びが仕事でも活かされていることがわかったという声が聞かれました。今回の経験が将来の進路選択の幅を広げるきっかけになることを願っております。

企業・団体みなさま、見学にご協力いただきありがとうございました。



4J 池上通信機様にて



4M コミュニケーションプラザ(ヤマハ発動機様)にて



3C 岡田川河川事業現場見学



3C 松川と千曲川の堤防の測量



3J KOA様にて



3E 日置電機様にて



4C 関門トンネル人道



4C 明石海峡大橋



3J 帰校後、集合写真



4J 小田原エンジニアリング様にて



## 令和4年度後援会総会報告

令和4年度後援会総会は、6月11日(土)午後13時より長野市「ホテルJALシティ長野」において、開催されました。コロナ禍の総会であるので、大変残念ではありますが役員の人数制限を行いました。

議事は令和3年度活動について、会務・事業・決算報告、令和4年度活動について、会務計画(案)・事業計画(案)・予算(案)・会則一部改正(案)議案は慎重審議の結果、いずれも原案通り賛成多数により可決されました。

会則一部改正(案)についてですが、後援会費は平成3年度19,500円に改定されてから、32年ぶりに令和5年4月より19,500円から22,000円に値上げすることが承認されました。保護者の皆様には様々の面で大変な状況と拝察し、会費値上げを行うことは大変心苦しいのですが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



## 令和4年度予算および令和3年度決算報告

### 【収入の部】

(単位:円)

| 科目       | R4年度予算     | R3年度決算     | 備考                        |
|----------|------------|------------|---------------------------|
| 入会金      | 3,780,000  | 3,840,000  | 新入生20,000/1人・編入生10,000/1人 |
| 会費       | 20,767,500 | 20,709,000 | 19,500/1人                 |
| 特定預金取崩収入 | 0          | 0          |                           |
| その他収入    | 500        | 89,605     | 預金利息・雑収入                  |
| 繰越       | 6,569,176  | 4,043,498  |                           |
| 合計       | 31,117,176 | 28,682,103 |                           |

### 【支出の部】

(単位:円)

| 科目     | R4年度予算     | R3年度決算     | 備考                        |
|--------|------------|------------|---------------------------|
| 課外活動援助 | 13,612,000 | 7,374,330  | 部活動・高専体育大会旅費・ものづくり支援      |
| 教育援助   | 4,323,750  | 2,880,742  | 教育支援・学校行事・専攻科・学生図書        |
| その他援助  | 4,760,000  | 5,367,092  | 学生指導・寮生・国際交流・教員課外活動等支援    |
| 運営費    | 5,356,000  | 4,190,763  | 会議費・役員旅費・支部運営費・事務費・給与・慶弔費 |
| 特定預金   | 800,000    | 2,300,000  | 事故対策・周年事業・財政安定化積立         |
| 予備費    | 2,265,426  | 0          | 緊急を要する支出                  |
| 合計     | 31,117,176 | 22,112,927 |                           |

## 校内短信 INFORMATION

### 秋の学校説明会を開催しました

令和4年11月3日(木)に秋の学校説明会を開催し、合わせて90名の中学生及び保護者の皆様に参加いただきました。教室で、新学科「工学科」の紹介、卒業後の進路や学校生活の説明を行った後、10名程度のグループに分かれて、授業風景や各施設を見学いただきました。さらに、説明会後には、本校の女子学生が中学生の相談や質問に答える、男女共同参画推進室による相談会が開催されました。参加者からは、「学校の雰囲気や授業の様子が分かり、参加してよかった。」などの声が聞かれました。



### 表紙のことは 飛躍のうさぎ 一般科教授 大西 浩次

星空の写真を撮るために人里を離れたところに行くと、いろいろな動物たちと出会います。タヌキやキツネはもちろん、ニホンカモシカなどに会うこともあります。そんな中、最もよく出会うのが野ウサギでしょうか。ライトを照らすと、「ピーターラビット」のようにすっと立ち上がって、跳びはねるように走り出します。

ところで、今年のえとは「卯」、うさぎですね。このうさぎの星座が「うさぎ座」、狩人オリオン(オリオン座)の足元に、3等と4等の暗い星たちで作る「うさぎ」の姿が見つかるでしょう。写真の点線は、冬の大三角、この中に、ふたご座流星群の小さな流星も流れています。霧氷の頂より、八ヶ岳から富士山までの稜線を見渡しています。「卯」の年は飛躍の年だと言われています。皆さんも、ホップ・ステップ・ジャンプと飛躍してください。

撮影日時: 2022年12月14日21時46分

撮影場所: 鷲ヶ峰(長野県諏訪郡下諏訪町) 撮影者: 大西浩次

(注) M.E.S.J.Cと記す場合は、それぞれ、機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、電子情報工学科、環境都市工学科の略称です。また、AP、AEと記す場合は、それぞれ、専攻科生産環境システム専攻、専攻科電気情報システム専攻の略称です。

「学園だより」バックナンバーは以下にアクセスすることにより、PDFでダウンロード可能です。 <https://www.nagano-nct.ac.jp/>